

## 〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、19～23℃台を示し、平年並み～やや低めの水温でした。

## 〔漁況概要〕

- 中小型まき網――月夜間に出漁日数が少なかった。西彼地区では、マサバなどが1日1統当たり19トンの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり11トンの水揚げで、前週の69%（前年を上回った）。
- イカ釣――スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり0.6kgの水揚げで、前週の20%（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり20kgの水揚げで、前週の19%（前年を下回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり26kgの水揚げで、前週の32%（前年並み）。壱岐勝本地区では、1日当たり43.2kgの水揚げで、前週の1.4倍（前年を上回った）。
- 定置網――五島魚目地区では、シイラなどが1日1統当たり2トンの水揚げ。対馬西岸地区では、マアジなどが1日1統当たり102kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり327kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、ヒラマサなどが1日当たり41.5kgの水揚げで、前週の2.1倍（前年を上回った）。

## 〔日本海スルメイカ情報〕

今期（11/5～11/9の5日間）沖合イカ釣（船凍船）は、大和堆西～隠岐諸島北で操業。沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～山陰沖～兵庫沖～能登半島沖で操業。鳥取県西部（沖合船）2日延11隻、総計631箱、1航海最高93箱、平均57.4箱。スルメイカを漁獲、魚体は20～30入。

（漁業情報サービスセンターより）

## 〔お知らせ〕

漁海況通信「第4-27号 令和4年度 第1回 対馬暖流系マアジ・さば類・いわし類長期漁海況予報」を発表しました。漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>